

まえがき

本書は、日本家族の変化を測定するという大目的のもとに、第2回全国家族調査（NFRJ03）として実施された調査の第1次報告書である。本調査に先立つ第1回全国家族調査（NFRJ98）で収集されたデータは、20世紀ほぼ最後の時点における日本家族の姿の一端を記述し、説明する目的をもって、すでに多くの、海外を含む研究者によって用いられてきた。本報告書ではじめてその概要を報告するNFRJ03データが、NFRJ98データとならんで、多くの研究者や実務家に利することを期待する。

NFRJ03調査は、NFRJ98調査と同様、日本家族社会学会会員が構成する「全国家族調査特別委員会」の責任のもと、その下部組織体である「03実行委員会」が中心になって計画・実施された。計画を進めるにあたって「全国家族調査特別委員会」は、日本学術振興会の科学研究費補助金（基盤研究A）による「現代日本家族のトレンド（趨勢）研究」と平行して、厚生労働省の科学研究費補助金に基づく「子育てと家族関係に関する全国調査」の実施に踏み切った。それには2つの理由がある。1つは、日本学術振興会からの交付金だけではNFRJ98に相応するサンプル規模を確保できないこと、もう1つは、家族現象の基本部分である親子関係、ないし個人にとっての親役割の発生やその発達の相違に関する基礎的データを収集するためには、対象サンプルの出生年あるいは調査時点年齢によって異なる調査票を用いることが至当と判断されたからである。上記2つの調査で収集されたデータを合体して構築されたのが、本報告書で用いているNFRJ03データである。本報告書の一部で示されているように、こうすることで、NFRJ98データと比較参照しながら日本家族の趨勢に関する観察や分析を行う可能性が開ける。

2つの源から構築されたNFRJ03データに基づく本報告書は、主要には03実行委員会メンバーと、データ構築に不可欠なクリーニング作業に参加した若干の日本家族社会学会会員とが分担して執筆した。本報告書刊行後は、日本家族社会学会内での共同利用を呼びかけ、NFRJ98データ、NFRJ03データの双方あるいは一方を使用した研究成果を検討する場を設けて、より多くの会員の執筆論文から構成される第2次報告書を作成する計画である。本報告書は、第2次報告書作成にかかわるであろう多くの会員に、基礎的情報を提供する意図も含んでいる。

そのため、本書の構成を以下に示すようにした。第I部「調査のねらいとデザイン」では、第1回全国家族調査（NFRJ98）実施後の活動経過およびNFRJ03実施概要、調査票の設計、サンプリングとデータの基本特性が記述されている。第II部「調査結果の概要」は、主な調査領域項目を単位にした基本的結果の記述からなる。最後に、データクリーニングの概要と基礎集計表を第III部としてまとめた。

第1次報告書の刊行にあたり、全国に拡散している調査対象者のご協力に深謝の意を伝えたい。われわれ研究者にとって調査環境は悪化の一途を辿っているが、本調査が全国標本調査というるのはひとえに調査対象者のおかげといえる。

加えて、「全国家族調査特別委員会」の存続を承認し、本調査の組織的および財政的基盤であり続けた日本家族社会学会にも感謝したい。日本家族の趨勢的变化を把握するために数時点にわたる調査を実施しようとするそもそもの計画は、日本家族社会学会の誕生後間もなく検討され始めた。初代森岡清美会長のもとでこの計画が実現の一步を踏み出し、また科研費申請は会長が申請チームの代表者を快諾されたことによって可能になった部分が多い。次期正岡寛司会長は、NFRJ98の実施本部長でもあり、具体的な作業への尽力も含めてその投下エネルギーは膨大と推察された。3期（袖井孝子会長）および4期（石原邦雄会長）において「全国家族調査特別委員会」は、「NFRJ98」データにもとづく研究成果をまとめ、調査データの公開をめざしたが、この間、学会理事会からは暖かい励ましがあつた。「NFRJ98」データにもとづく多量の研究成果の発表のうち、とりわけ『現代家族の構造と変容』（2004年1月、東京大学出版会）の刊行にあたっては、渡辺秀樹・初代全国家族調査特別委員会委員長の労に負うところ大であつた。また調査データの公開は、NFRJ98調査計画の当初から重要な課題としてそこに含まれていたが、NFRJ98データ、ならびにその予備調査データ2つも含め、一般公開を現実化できたことについては、後ろ盾としての学会の役割がないとはいえない。3期袖井会長、4期石原会長が手がけようとした家族の国際比較研究に、こうした公開データが役立つことが望まれる。

最後に、日本学術振興会および厚生労働省に謝意を表す。これらから交付された研究費が本NFRJ03データの構築を可能にしたのである。

2005年3月20日

藤見純子（前全国家族調査特別委員会委員長）